

2024年2月28日
JR東日本スタートアップ株式会社
株式会社 Agnavi
株式会社 JR東日本商事
東日本旅客鉄道株式会社 東北本部

日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」×JR東日本グループで地域共創！
「山形新幹線 E8系・E3系」をデザインした
山形の銘酒「ICHI-GO-CAN®」を数量限定販売

2024年3月5日（火）より発売開始

- JR東日本のグループ会社でスタートアップ企業への出資や協業を推進するJR東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕）と日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を展開する株式会社 Agnavi（代表取締役：玄 成秀）は、株式会社 JR東日本商事（代表取締役社長：井上 晋一）、東日本旅客鉄道株式会社東北本部（執行役員 東北本部長：三林 宏幸）と連携し、2024年3月16日から運行開始する山形新幹線新型車両 E8系デビューおよび2024年4月1日から6月30日まで開催される「山形県春の観光キャンペーン」に合わせて、山形の蔵元「東の麓酒造」と連携した「ICHI-GO-CAN®」を販売します。
- 「ICHI-GO-CAN®」のデザインは、JR東日本が保有する「山形新幹線 E8系・E3系」の2種類を展開します。
- 「ICHI-GO-CAN®」を通じて、ローカルの日本酒を市場に流通させ、沿線の酒蔵の魅力を発信し、ファンになってもらうことで、地域との接点を生み出し、地域活性化に繋がります。



山形県春の観光キャンペーン
ロゴマーク



JR 東日本商品化許諾済

【発売概要】

- 商品名：「純米吟醸 つや姫なんども JR 東日本 山形新幹線（E8系） 一合缶」
「純米吟醸 つや姫なんども JR 東日本 山形新幹線（E3系） 一合缶」
- デザイン：山形新幹線（E8系・E3系）の2種類
- 生産蔵元：東の麓酒造（山形県南陽市）
- 発売日時：2024年3月5日（火）より順次発売開始
- 希望小売価格：各種類 660円（税込）

■発売箇所：

駅名	店舗名
山形駅	NewDays 山形エスパル、NewDays 山形 2号
新庄駅	NewDays 新庄
かみのやま温泉駅	NewDays かみのやま
赤湯駅	NewDays 赤湯
米沢駅	NewDays 米沢
福島駅	NewDays ミニ 福島 21号
郡山駅	NewDays ミニ 郡山 8号
東京駅	NewDays ミニ 東ホ 5C、NewDays 東ホ 6A、NewDays KIOSK 東京駅新幹線ホーム 6D、駅弁屋 祭 東京グランスタ店、TRAINIART (トレニアート) TOKYO グランスタ店
上野駅	NewDays ミニ 上野 5号
大宮駅	ミュージアムショップ TRAINIART (トレニアート) 鉄道博物館店

■EC サイト：

TRAINIART (トレニアート) JRE MALL 店：<https://www.jreastmall.com/shop/c/c01/>

ICHI-GO-CAN®公式オンラインショップ：<https://ichi-go-can.jp/>

※限定生産のため、商品が無くなり次第発売終了となります。

※企画内容や発売開始時期等は変更となる場合があります。

※価格は発売箇所によって異なる場合がございます。

※画像はイメージです。

【山形新幹線 E8 系について】

2024年3月16日から運行開始する新型車両で、デザインコンセプトは「豊かな風土と心を編む列車」です。現行のE3系が持つ地域に根差したイメージを引き継ぎ、途切れなくつながる紅花イエローが、山形の風土と離れた土地にいる人々の心の結びつきを表現しています。

営業最高速度 300km/h での走行に対応することで速達性を向上しつつ、多くのお客さまに快適な車内空間をご提供するため、先頭長は 9m として、空力解析により最適化された「アローライン形状」を採用しています。



【山形新幹線 E3 系について】

E3系は、新幹線と在来線を乗り換えなしで結ぶ「新在直通運転」の第2号として1997年に登場しました。

第1号は山形新幹線400系でしたが、2010年までにすべての車両がE3系へ置き換えられました。在来線区間を走行するため、一般の新幹線車両よりも一回り小形に作られており、収納式のステップが設けられています。



【ICHI-GO-CAN®について】

日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」は、日本酒の消費量の減少が著しい現代、日本酒の容器に缶という選択肢を提供し、「適量・オシャレ・持ち運び便利」を実現した、環境にも配慮した日本酒普及の取り組みです。

【Agnavi について】

日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」を運営し、「日本酒を世界に広める」ことをミッションに掲げるベンチャー企業です。日本酒業界のゲームチェンジャーとなり、様々な日本酒をワンストップでお届けできる商流の構築を目指しています。

全国の蔵元にOB・OGを6割以上輩出する東京農業大学在学中に現在の代表取締役の玄成秀が事業を開始し、3年で全国90の蔵元との協業にその輪は広がり、展開する銘柄は150種類以上に到達しました。北米・南米・東南アジア・ヨーロッパなど海外への輸出を行っています。

【各社概要】

JR 東日本スタートアップ

会社名： JR 東日本スタートアップ株式会社

所在地： 東京都港区高輪 2-21-42

代表者： 代表取締役社長 柴田 裕

設立： 2018年2月20日

事業内容： 事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資及び JR 東日本グループとの協業推進

URL： <https://jrestartup.co.jp/>

Agnavi

会社名： 株式会社 Agnavi

所在地： 神奈川県茅ヶ崎市本村 2 丁目 2 番地 18 号

代表者： 代表取締役 玄 成秀

設立： 2020年2月27日

事業内容： 日本酒ブランド「ICHI-GO-CAN®」の展開

URL： <https://agnavi.co.jp/>

JR 東日本商事

会社名： 株式会社 JR 東日本商事

所在地： 東京都渋谷区代々木 2-2-2 JR 東日本本社ビル 11F

代表者： 代表取締役社長 井上 晋一

設立： 1988年9月13日

事業内容： 鉄道資材事業、ビジネスソリューション事業、コンシューマー商品事業、保険代理店事業

URL： <https://www.ejrt.co.jp/>